

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第19号 平成23年6月30日

政司予定とおりの粘投でチームに勝利を呼び！！

残り5分で執念の勝利！！！！

	1	2	3	4	5	6	7	R
K	0	0	0	2	0	1	0	3
G	0	1	0	0	0	0	3 ×	4



6/30(土)西管公園野球場に向き、Victoria土曜リーグ 初戦、相模KO'S戦を行った。今期のVictoriaではかなり苦戦を強いられているので、この土曜リーグは是が非でも勝利をゲットしたい、という意気込みで望んだ。この初戦にマウンドに上がったのは、政司、彼のピッチングが今日のゲームを握っている、と言っても過言では無い、そして、彼自身もそんなチームの思いを背にマウンドに上がった。そんな立ち上がり、先頭打者に6球を投じたがーゴロに打ち取り、幸先宵発進となった。が、後続には、失策により出塁、その後二盗を許し、一死二塁と早くもスコアリングポジションにランナーを背負う展開。だが、後続を三振に斬り二死二塁とし、次打者が放った打球は、一二塁間を抜く安打、この打球を今日ライトに入った裕太の肩がチームのピンチを救った。その裏の初回攻撃、先頭智が安打で出塁する、その後二盗を決め、こちらも初回から、得点シーンを作った。が、二塁上で牽制死となり、あっさりチャンスは消える。だが、翌2回の攻撃でゲームは動いた。この回先頭のこーすけが、3球目をライトにホームランを放ち先制点を挙げた。その後、政司は2回・3回と三者凡退に斬り、翌4回、ここで、失点を許してしまった。ポテポテのセカンドゴロをハンプルし出塁され、その後二盗で無死二塁、次打者は、非常にスピンの掛かった捕手前の打球、この打球は、裁きが非常に難しいが、これまた失策で出塁され、無死一・三塁その後、二盗で無死二・三塁、後続の一ゴロの間に三塁走者がホームインし同点、後続には、初球にエンドランを決められ、無安打で2点点目を献上した。更には、次打者にライトオーバーの安打を放たれた、が、ここでまたもや裕太が肩で二塁進塁を許さず、この回を2点で収めた。その後6回には、二死までとるものの、安打と失策が絡み1点を追加され、その差は2点に広がってしまった。時間も残り5分となった最終回の攻撃、是が非でも勝利を得るには走者を溜め、更にホームインしなければ、勝利は無い。こんなギリギリの状態の中で、未だ今期好調を維持しているこーすけが、初球を左に運ぶ、この打球がイレギュラーを呼び、結果二塁打とした。続く打者は迷走状態に入っている裕太だが、これまた初球をレフト戦に運ぶ、普通の走者ならツーベースとなる安打でこーすけを迎え入れ、その差は1点差。続きたかあきの遊ゴロは失策により出塁、続く梶原の三線を抜くツーベースで裕太が懸命にホームインし、これで同点、深沢が敬遠され、無死満塁の絶対的チャンス！ここで、打席に入ったのが達脇、3球目を泳ぎながら放った打球は、前進守備をしていたセカン頭上を越える安打、これで奇跡的な逆転勝利が決まった。この回の攻撃は、神懸りの的な何かを感じている攻撃であった。こんな中で若干感じた事。やはり基本に忠実が得点を許す、得点を呼ぶという事である。まさに2点を失点したのも、その双方が絡んで起きた事、逆に、その頂いた内容を如何にチームとして、得点に繋げる・繋げられるかが、今後の勝ちを左右する。また、そういう場面での、初球の入りには、充分気を付ける必要があった。ベースが開いて要る事から、ボールで入って様子を見る事も、失点を許さない一つの要因である。今日のゲームは失策数が相手チームより上回ったが、勝利出来たのは、チームの勝ちたい気持ちであろう。投手陣も最高でした。これからも、メンバー同士を盛り上げ、支えあい、チーム一丸勝利をゲットしよう！さー、明日は区民8決定だ！！！！